

# 実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善 (品質工学編)

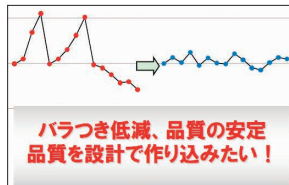
定員 30名  
受講料 2,500円/名

コース番号	日程	実施時間
3M030	[2日間]	各日9:30~16:30

## 訓練内容

近年、製品の高度化・複雑化が進む一方、開発期間の短縮やコスト競争は激しさを増しています。この状況の中においても、市場での品質問題を未然に防止するためには、開発・製造検査工程における「品質の作りこみ」が極めて重要であり、これらの解決ツールとして「品質工学」の考え方が注目されています。このような背景のもと、品質工学の理解を十分に深めることをめざして、適宜演習も行いながら、実務への展開を考えるにあたって比較的速やかに効果の出やすい、「動特性」と呼ばれる手法を中心に習得します。


1. 品質工学導入の背景
2. パラメータ設計とは
3. 適用事例
4. パラメータ設計の考え方
5. パラメータ設計の手順
6. 演習問題



対象者 生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

主な使用機器 パソコン、プロジェクタ 持参品 筆記用具、関数電卓

備考 株式会社タダノ 志度工場にて開催します。

受講者の声  パラメータ設計と聞くと、実験であたりをつけるものと思っていたが、違う手法と理解できた。